平成16年2月4日(水)
午後2時00分から3時03分
宇都宮市役所14大会議室

第1回宇都宮地域合併協議会 会 議 録

第1回 宇都宮地域合併協議会会議録

1 出席者

- ・会長 福田 富一
- ・副会長 猪瀬 成男 手塚 順一 玉生 勝経
- ・委員 小野里 豊 山崎 守男 須賀 万里子 築 郁夫
湯澤 博 竹原 卓郎 貝賀 芳夫 松本 清
石川 伍一 稲葉 信子 渡辺 清 江連 俊
藤江 政夫 江連 功 斎藤 勝 手塚 早苗
福嶋 邦夫 柴山 昭宣 福田 栄 加藤 幸雄
釜井 傳一郎 鱒淵 幸三 南木 昭男 田村 澄夫

2 欠席者

- ・委員 吉沼 正夫 伊澤 茂 中村 祐司 沼田 良

3 出席した事務局職員等

- ・事務局長 栗田 幹晴
- ・事務局次長 大林 厚雄

4 議 事

報告事項

- (報告第1号) 宇都宮地域合併協議会の設置について
- (報告第2号) 宇都宮地域合併協議会規約に関する事項等の協議書について
- (報告第3号) 宇都宮地域合併協議会幹事会規程等の制定について

審議事項

- (議案第1号) 宇都宮地域合併協議会会議運営規程の制定について
- (議案第2号) 平成15年度宇都宮地域合併協議会事業計画について
- (議案第3号) 平成15年度宇都宮地域合併協議会収支予算について
- (議案第4号) 監査委員の選任について
- (議案第5号) 宇都宮地域合併協議会小委員会規程の制定について
- (議案第6号) 小委員会の設置について
- (議案第7号) 合併の方式について
- (議案第8号) 新市の名称について
- (議案第9号) 新市の事務所の位置について
- (議案第10号) 行政制度の調整方針について

その他

協議内容の概要

事務局の進行により本会が開かれる。

はじめに、会長である福田富一宇都宮市長による挨拶が行われ、その後、委員の委嘱及び紹介が行われた。(31名中27名出席)

続いて、議長より本会議における会議録署名委員2名が指名される。(江連(俊)委員、加藤委員)

次に、事務局による、報告事項の説明となる。

報告第1号「宇都宮地域合併協議会の設置について」及び報告第2号「宇都宮地域合併協議会規約に関する事項等の協議書について」は関連があるため、一括して説明が行われ、承認された。

報告第3号「宇都宮地域合併協議会幹事会規程等の制定について」の説明が行われ、承認された。

続いて、事務局による、審議事項の説明となる。

議案第1号「宇都宮地域合併協議会会議運営規程の制定について」の審議が行われた。(原案通り可決)

議案第2号「平成15年度宇都宮地域合併協議会事業計画について」及び議案第3号「平成15年度宇都宮地域合併協議会収支予算について」は関連があるため、一括して審議が行われた。(原案通り可決)

議案第4号「監査委員の選任について」を審議し、上三川町の野沢美範収入役、上河内町の大木二三男収入役及び河内町の斉藤弘収入役の3名が選任された。(原案通り可決)

議案第5号「宇都宮地域合併協議会小委員会規程の制定について」及び議案第6号「小委員会の設置について」は関連があるため、一括して審議され、地域自治制度、市町建設計画及び議会制度の3つの小委員会が設置された。(原案通り可決)

議案第7号「合併の方式について」、議案第8号「新市の名称について」、議案第9号「新市の事務所の位置について」及び議案第10号「行政制度の調整方針について」は関連があるため、一括して審議された。

議案第7号「合併の方式について」は、上三川町、上河内町及び河内町を廃止し、その区域を宇都宮市に編入する編入合併方式となった。(原案通り可決)

議案第8号「新市の名称について」は、「宇都宮市」とすることとなった。(原案通り可決)

議案第9号「新市の事務所の位置について」は、現宇都宮市役所の位置となった。(原案通り可決)

議案第10号「行政制度の調整方針について」は1市3町の行政制度について、新市においてどのように取扱うかの考え方が審議された。(原案通り可決)

次に、事務連絡として合併市町の基礎データの配布及び第2回協議会の日程について説

明が行われた。

山崎委員より、協議会から離脱した高根沢町の動向について質問が出された。

「住民発議」の内容の説明及び高根沢町と宇都宮市が協議会を設置することになった場合には、本協議会とは別個に設置するという説明(事務局回答、発言者了解)があった後、会議終了となる。

午後2時00分 開会

事務局（大林事務局次長）

それでは定刻となりましたので、ただいまから「第1回宇都宮地域合併協議会」を開会いたします。

はじめに、会議に入る前に、委員の皆様にご報告を申し上げます。

後ほど、報告第1号「宇都宮地域合併協議会の設置について」の中でご説明いたしますが、当合併協議会の会長及び副会長は、合併協議会規約第6条及び第7条で、構成市町の首長が協議して定めることとなっており、任意合併協議会と同じく、会長は福田富一宇都宮市長が、副会長は猪瀬成男上三川町長、手塚順一上河内町長、玉生勝経河内町長が就任することで決定しております。よろしくお願いたします。

次に、今回の会議の傍聴等の取扱いにつきましては、議案第1号「宇都宮地域合併協議会会議運営規程」の中でご審議いただくこととなっておりますが、当協議会は公開を原則としており、本日の会議も傍聴を認めておりますのでご了解いただきたいと存じます。

次に、本日の会議につきましては、副会長を含む委員31人中27人のご出席をいただいております。協議会規約第9条第2項の規定に基づく委員の半数以上のご出席をいただいております。

それでは、はじめに、会議に先立ちまして、宇都宮地域合併協議会会長の福田富一宇都宮市長よりご挨拶を申し上げます。

福田会長

皆さんこんにちは。本日は、大変お忙しいところ、お集まりをいただきましてまことにありがとうございます。

第1回宇都宮地域合併協議会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

きょうは立春でございます。立春の日に第1回の合併協議会が開催できますことを大変うれしく思います。

市町村合併は、昭和の大合併以来の50年ぶり、国を挙げての大事業であり、それぞれのまちづくりやそれぞれの市町村が自立した自治体経営を目指し、今後のまちづくりや国に頼らない健全な財政運営をどのように展開していくか、市町村の質と力量が問われる大変重要な問題であります。このような重要な問題である合併協議会の会長を、任意の合併協議会に引き続き務めることとなり、職責の重大さを再認識するとともに、改めまして、皆様方のご支援、ご協力をいただきながら、この職責を果たしてまいりたいと考えております。

さて、当協議会は、昨年6月に、宇都宮市、上三川町、上河内町、河内町、高根沢町の1市4町で任意合併協議会を設置し、12月の法定協議会設置に向けて、これまで4回の協議会を開催いたしました。

この協議会の中では、合併方式などの合併基本4項目や新市の将来像、全国的にも先駆的な地域自治制度の骨格、行政制度の調整方針等をご協議いただきました。また、この間、住民の皆様に関心をもたせていただくために、「協議会だより」の発行やホームページの開設、さらにはシンポジウムを開催いたしました。

しかしながら、まことに残念なことに、1市4町での法定協議会設置に向けた議案は、高根沢町の議会におきまして理解が得られず、1市4町での法定合併協議会設置が困難となりました。

こうしたことから、昨年12月に関係首長が緊急に集まり、合併協議会に対する今後の対応を協議いたしました。合併特例法の期限内の合併を目指すために、1市3町で法定協議会を設置することとなり、関係議会の議決を経て、本日の第1回法定合併協議会の開催に至ったわけでございます。

本格的な合併協議はまさにこれからであり、建物の建築に例えれば、整地が終わったばかりで、基礎を作り、柱を立て、屋根を葺きと、まだまだ皆様方の知恵と力が必要な一大事業であります。本日の協議会は、協議会の運営に必要な会議運営規程や事業計画、収支予算など基本となる事項や、任意合併協議会で合意をいたしました合併協定事項等についてご協議をお願いしたいと考えております。皆様方の活発なご発言をお願い申し上げます。開会に当たりましての挨拶といたします。

事務局（大林事務局次長）

ありがとうございました。

続きまして、協議会委員の委嘱及び紹介をさせていただきます。

委員の委嘱につきましては、本来ならば、会長よりお1人ずつ委嘱状をお渡しするところでございますが、お時間の都合もございますので、委員の皆様方をお手元の参考資料の1ページの名簿順にご紹介させていただき、委嘱状の交付は省略させていただきます。

なお、委嘱状につきましては、皆様方の机の上に事前に配布させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

それでは、僭越ではございますけれども委員の皆様方をご紹介させていただきます。

なお、会長、副会長につきましては、先ほどご紹介させていただきましたので、宇都宮市の委員さんから順次ご紹介をさせていただきます。

宇都宮市議会議長の小野里豊委員でございます。（小野里委員 挨拶）

宇都宮市議会市町合併対策特別委員会委員長の山崎守男委員でございます。（山崎委員 挨拶）

宇都宮市社会福祉協議会会長の須賀万里子委員でございます。（須賀委員 挨拶）

宇都宮商工会議所会頭の築郁夫委員でございます。（築委員 挨拶）

宇都宮市自治会連合会会長の湯澤博委員でございます。（湯澤委員 挨拶）

宇都宮市助役の竹原卓郎委員でございます。（竹原委員 挨拶）

上三川町議会議長の貝賀芳夫委員でございます。(貝賀委員 挨拶)

上三川町議会市町村合併問題調査研究特別委員会委員長の松本清委員でございます。

(松本委員 挨拶)

上三川町自治会長連絡協議会会長の石川伍一委員でございます。(石川委員 挨拶)

上三川町女性団体連絡協議会会長の稲葉信子委員でございます。(稲葉委員 挨拶)

お1人飛びまして、上三川町助役の渡辺清委員でございます。(渡辺委員 挨拶)

上河内町議会議長の江連俊委員でございます。(江連委員 挨拶)

上河内町議会市町村合併検討特別委員会委員長の藤江政夫委員でございます。(藤江委員 挨拶)

上河内町社会福祉協議会副会長の江連功委員でございます。(江連委員 挨拶)

上河内町青少年育成町民会議会長の斎藤勝委員でございます。(斎藤委員 挨拶)

上河内町自治会長連絡協議会会長の手塚早苗委員でございます。(手塚委員 挨拶)

上河内町助役の福嶋邦夫委員でございます。(福嶋委員 挨拶)

河内町議会議長の柴山昭宣委員でございます。(柴山委員 挨拶)

河内町議会市町村合併問題調査研究特別委員会委員長の福田栄委員でございます。(福田委員 挨拶)

河内町文化財保護審議会会長の加藤幸雄委員でございます。(加藤委員 挨拶)

中岡本土地改良区理事長の釜井傳一郎委員でございます。(釜井委員 挨拶)

河内町自治会長連合会会長の鱒淵幸三委員でございます。(鱒淵委員 挨拶)

河内町助役の南木昭男委員でございます。(南木委員 挨拶)

なお、宇都宮農業協同組合代表理事組合長の伊澤茂委員につきましては、遅延する予定でございます。

上三川町商工会会長の吉沼正夫委員、宇都宮大学国際学部教授の中村祐司委員、作新学院大学地域発展学部教授の沼田良委員につきましては、本日欠席となっております。

最後に、栃木県総務部地方課長の田村澄夫委員でございます。(田村委員 挨拶)

以上で、委員の委嘱及び紹介を終わりにさせていただきます。

続きまして、早速会議に入らせていただきます。

会議の議長は、協議会規約第9条第3項の規定に基づき福田会長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

議長(福田会長)

それでは会議に入ります。

会議次第4の「会議録署名委員の選任」をいたします。

本日の会議録署名委員は、上河内町の江連俊委員と、河内町の加藤幸雄委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

続きまして、会議次第5の「報告事項」に移ります。

報告第1号「宇都宮地域合併協議会の設置について」及び報告第2号「宇都宮地域合併協議会規約に関する事項等の協議書について」は関連がございますので、一括して事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、報告第1号「宇都宮地域合併協議会の設置について」及び報告第2号「宇都宮地域合併協議会規約に関する事項等の協議書について」ご説明いたします。

まずはじめに、報告第1号「宇都宮地域合併協議会の設置について」でございますが、会議資料の2ページをご覧ください。

昨年6月6日に、宇都宮市、上三川町、上河内町、河内町及び高根沢町の1市4町で任意合併協議会を設置し、12月にそれぞれの定例議会に、法定合併協議会設置の議案を提出いたしましたが、高根沢町議会におきまして否決されたことに伴い、1市4町によりまず法定合併協議会の設置が困難となりました。

このため、12月12日に急遽、首長会議を開催し、高根沢町を除く1市3町で改めて先月の1月23日に臨時議会を開催し、法定合併協議会設置の議案を可決いただきましたことから、1月29日に1市3町の首長が協議し、地方自治法及び合併特例法の規定に基づく法定合併協議会の規約を定め、法定合併協議会の設置日を2月1日とすることで協議が整ったところでございます。

その証といたしまして、宇都宮地域合併協議会設置に関する協議書を締結いたしましたので、報告するものでございます。

次に、協議会規約につきましては、3ページをご覧ください。

法定合併協議会の規約につきましては、任意合併協議会の規約とほとんど変更はございませんので、主な変更部分につきましてご説明いたします。

まず、第1条で、構成市町を、宇都宮市、上三川町、上河内町及び河内町の1市3町とし、地方自治法や合併特例法に基づく合併協議会を設置することを明記いたしました。

4ページをご覧ください。

第9条第4項におきまして、会議の議事、運営等につきまして、従来は会長が定めるとなっておりましたが、より透明性を出すため、会長が協議会に諮り、決定することといたしました。

次に、第12条におきまして、任意合併協議会の規約に規定されておりました専門部会を幹事会の下部組織であることを明確にすることから削除いたしまして、幹事会規程の方に明記いたしました。

5ページをご覧ください。

第17条では、会長、副会長、委員、顧問及び監査委員で地方自治体の常勤の特別職または一般職である者は、報酬を支給しない旨の規定といたしました。

また、任意合併協議会の規約にございました、新たに加える団体の取扱いに関する規

定につきましては、法定協議会参加自治体の枠組みが確定いたしましたので、規約の中から規定を削除いたしました。

最後に、附則の施行期日でございますが、法定合併協議会設置の日を平成16年2月1日といたしました。

次に、報告第2号「宇都宮地域合併協議会規約に関する事項等の協議書について」でございますが、会議資料の8ページをご覧ください。

法定合併協議会規約の中で、構成市町の長が協議して定める事項や、その他必要な事項につきまして協議をし、その結果を協議書として締結いたしましたので報告するものでございます。

まず、1の協議して定める事項のうち、(1)の会長につきましては、任意合併協議会と同じく宇都宮市長とし、(2)の共通委員につきましては、任意合併協議会の共通委員3人に、新たに県の地方課長をお願いいたしました。

次のページをご覧ください。(3)の事務局職員につきましては、表にございますように任意合併協議会と同様、構成市町の職員をもって充てることといたしました。

(4)の経費の負担につきましては、平成15年度は任意合併協議会と同様、均等割4割、人口割6割とし、平成16年度は均等割を国の補助金上限額の500万円とし、人口割は均等割分を除く全額といたしました。

次に、2の会長職務代理者につきましては、任意合併協議会と同様に、上三川町長といたしました。

次に、3の任意合併協議会での合意事項につきましては、法定合併協議会においては最大限尊重し、今後の協議に臨むこととするもので、4の協議内容の変更についてと、5のその他定めのない事項につきましては、記載のとおりでございます。

ただいまご説明いたしました事項は、1月29日に1市3町の首長が協議をし、その証として協議書として締結したものでございます。

以上で報告第1号及び報告第2号の説明を終わらせていただきます。

議長（福田会長）

報告第1号及び報告第2号につきまして、事務局の説明が終わりました。ここで質疑を行います。ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

ご意見ございませんか。

それでは、ご意見がないようでございますので、報告第1号「宇都宮地域合併協議会の設置について」及び報告第2号「宇都宮地域合併協議会規約に関する事項等の協議書について」は、ご承認をいただくことでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

ありがとうございました。それでは、ご承認をいただいたものといたします。

次に、報告第3号「宇都宮地域合併協議会幹事会規程等の制定について」、事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、報告第3号「宇都宮地域合併協議会幹事会規程等の制定について」ご説明いたします。

会議資料の11ページをご覧ください。

法定合併協議会の設置に伴い、協議会の運営に必要な規程を、任意合併協議会と同様に整理したものでございます。

会議資料の12ページをご覧ください。

はじめに、宇都宮地域合併協議会幹事会規程でございますが、この規程の趣旨は、幹事会を事務レベルにおける最終調整組織として、また、協議会と専門部会をつなぐ組織として置き、その運営に必要な事項を定めたものでございます。

主な要点をご説明いたします。

第2条では、協議会に提案する事項や幹事会の下部組織である専門部会の進行管理を行うなど、幹事会の所掌事項を定めております。

第3条、第4条では組織、役員を定めており、各市町の助役と職員で幹事会を構成し、幹事長及び副幹事長は幹事の互選により定めることとしております。

なお、幹事会の組織構成は、先ほどお手元に配付してございます参考資料2ページのとおりでございます。

次に、宇都宮地域合併協議会専門部会規程でございますが、会議資料の14ページをご覧ください。この規程の趣旨は、専門部会を実質的な合併に関する協議、調整を行う組織として置き、その運営に必要な事項を定めたものでございます。

主な要点をご説明いたします。

第4条、第5条では、組織、役員を定めており、各市町の職員で組織し、幹事長が部会長、副会長を指名することとしております。

第7条では、総務専門部会など8つの専門部会が、必要に応じて他の専門部会と合同の会議ができるように定め、第8条では、専門部会に個別事務事業の協議や調整を行う分科会を設置できる定めにしております。

次に、宇都宮地域合併協議会事務局規程でございますが、会議資料の16ページをご覧ください。

この規程の趣旨は、協議会事務局の組織、運営等につきまして必要な事項を定めたものでございます。

主な要点をご説明いたします。

第2条では、協議会の会議や協議資料の作成など、事務局の所掌事項について。

第3条では、事務局に局長、次長その他の職員を置き、第5条から第9条までは職務権限や決裁区分などを定めております。

第10条では、協議会の公印の取扱いについて、第11条では、職員の服務などを規定しており、宇都宮市の例によることを定めております。

次に、宇都宮地域合併協議会財務規程でございますが、会議資料の19ページをご覧ください。この規程の趣旨は、協議会の財務に関し必要な事項を定めたものでございます。

主な要点をご説明いたします。

第2条から第4条までは、歳入・歳出予算について。

第5条から第7条では、予算執行上の手続等について定めております。

第8条では、補則といたしまして、その他財務に関し必要な事項は、宇都宮市の例により、会長が別に定めることになっております。

次に、宇都宮地域合併協議会委員等の報酬及び費用弁償に関する規程でございますが、会議資料の21ページをご覧ください。この規程の趣旨は、協議会にご出席いただく委員の方々などに支給いたします報酬や費用弁償について、必要な事項を定めたものでございます。

第2条では、委員の方々の報酬額につきましては、宇都宮市の条例の規定に基づく額を支給することとし、東京都にお住まいの委員の報酬は別に定めております。

第3条では、会議以外の職務で旅行したときは、費用弁償を支給し、委員等以外の方が協議会の職務により旅行したときは、費用弁償または旅費を支給できることとしております。

以上で報告第3号の説明を終わらせていただきます。

議長（福田会長）

11ページから21ページまで 報告第3号につきまして事務局の説明が終わりました。ここで質疑を行います。ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

事務局報告のとおり了承することによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

ありがとうございます。それでは、報告第3号につきましてはご承認をいただいたものといたします。

次に、会議次第6の「審議事項」に移ります。

議案第1号「宇都宮地域合併協議会会議運営規程の制定について」、事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、議案第1号「宇都宮地域合併協議会会議運営規程の制定について」ご説明いたします。

会議資料23ページをご覧ください。

この規程は、協議会規約第9条第4項で、「会議の議事、運営その他必要な事項は、会長が会議に諮り、別に定める」となっておりますことから、今回、協議会にお諮りするものでございます。

内容的には任意合併協議会で定めておりましたものと変更はございませんので、主要点をご説明いたします。

第1条から第8条までは、会議の運営に必要な事項を定めており、第2条では、会議は公開を原則としております。

第6条では、会議録の調製について。

第7条で、会議ごとに、会議録の署名委員を2人、議長が指名することになっております。

第9条から第18条までは、会議の傍聴に関する事項を定めており、第10条では、傍聴人の定員は20人とし、第11条では、傍聴人の受付手続、第12条以降では、傍聴人の注意事項等を定めております。

以上で議案第1号の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

議長（福田会長）

ページ22から25につきまして説明がありました。議案第1号について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。事務局の説明のとおり、任意合併協議会の中で1度、審議をいただいているものでございます。

それでは、ないようでございますので、皆様方にお諮りいたします。

議案第1号「宇都宮地域合併協議会会議運営規程の制定について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

ありがとうございます。それでは、議案第1号は原案のとおり決定といたします。

続きまして、議案第2号「平成15年度宇都宮地域合併協議会事業計画について」及び議案第3号「平成15年度宇都宮地域合併協議会収支予算について」は関連がありますので、一括して事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、議案第2号及び議案第3号につきまして順次ご説明をいたします。

まず、議案第2号「平成15年度宇都宮地域合併協議会事業計画について」ご説明いたします。

会議資料の26ページをご覧ください。

平成15年度宇都宮地域合併協議会の事業計画といたしましては、まず、合併協定項目の協議や各種事務事業の調整のほか、これまで任意合併協議会で審議してまいりました市町建設計画の策定や地域自治制度の構築など、合併に向けた具体的な協議を行ってまいります。

また、住民への啓発活動といたしまして、任意合併協議会に引き続き、協議会広報紙の発行やホームページによる情報提供を行ってまいります。

最後にその他といたしまして、合併に関する必要な事業を適宜実施してまいります。

続きまして、議案第3号「平成15年度宇都宮地域合併協議会収支予算について」ご説明いたします。

会議資料の28ページをご覧ください。

ただいまご説明申し上げました事業計画案の実施に必要な経費といたしまして、歳入歳出それぞれ2,200万円余、計上いたしました。

まず、歳入のうち負担金についてでございますが、歳入合計額から諸収入額1,000円を除いた2,200万円余を、協議会を構成する1市3町で負担するものでございます。負担割合につきましては、先ほど規約に関する事項等の協議書の経費の負担についてご報告いたしましたとおり、均等割を40%、残りの60%を人口割として按分し計上いたしました。また、諸収入につきましては、預金利子額として1,000円を計上しております。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

まず、協議会の運営費についてでございますが、会議費といたしまして141万円余を計上いたしました。主なものといたしましては、1節の報酬に、協議会及び小委員会の委員報酬といたしまして122万円余を計上いたしました。

次に、事務局費といたしまして146万円余を計上いたしました。主なものといたしましては、13節の委託料に、臨時職員の派遣委託料といたしまして98万円余を計上いたしました。

次に、事業費についてでございますが、事業推進費といたしまして1,900万円余を計上いたしました。主なものといたしましては、13節の委託料に、市町建設計画の策定に伴う資料作成や協議会広報紙の発行などにかかわる経費のほか、専門的な分析を必要とします電算システムの調査にかかわる経費といたしまして1,900万円余を計上いたしました。また、予備費といたしまして10万円を計上いたしました。

以上で議案第2号及び第3号の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願い

いいいたします。

議長（福田会長）

議案第2号及び議案第3号につきまして、事務局の説明が終わりました。質疑を行います。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

事業計画の中で、市町建設計画についてはどんなスケジュールでまとめていく予定なのか、スケジュールだけお願いします。15年度だからやることはないのですか。

事務局（大林事務局次長）

いえ、そんなことはございません。現在、建設計画小委員会の中で検討しておりますけれども、予定では、県との下協議がございますので、3月ごろまでには素案的なものをまとめまして県と下協議に入っております。4月には、協議が終わった後、各市町におきまして住民の方への説明ということで予定しております。最終的には8月が合併の調印ということですので、今後精力的に小委員会等を活用しながら協議等を進めてまいりたいと考えております。

議長（福田会長）

年度内に県との下協議ができるようにするということですね。

事務局（大林事務局次長）

予定では、3月から県との下協議に入りたいと考えております。

議長（福田会長）

ほかにございませんか。

それでは、ないようですので、お諮りいたします。議案第2号「平成15年度宇都宮地域合併協議会事業計画について」及び議案第3号「平成15年度宇都宮地域合併協議会収支予算について」は、原案のとおり決定することよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

それでは、議案第2号及び議案第3号は原案のとおり決定といたします。

続きまして、議案第4号「監査委員の選任について」、事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、議案第4号「監査委員の選任について」ご説明いたします。

会議資料 29 ページをご覧ください。

協議会の監査委員は、協議会規約第 15 条第 1 項の規定により、会長が協議会の同意を得て 3 人を選任することとなっておりますので、上三川町収入役の野沢美範氏、上河内町収入役の大木二三男氏、河内町収入役の斉藤弘氏の 3 人に監査委員をお願いすることで、協議会の同意を求めるものでございます。

以上で議案第 4 号の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

議長（福田会長）

議案第 4 号につきまして、事務局の説明が終わりました。ご意見等はございますか。

議案第 4 号につきましては、ただいまの説明にありました 3 人の方々に監査委員としてお願いすることよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

ありがとうございます。それでは、議案第 4 号は原案のとおり決定いたします。

続きまして、議案第 5 号「宇都宮地域合併協議会小委員会規程の制定について」及び議案第 6 号「小委員会の設置について」はそれぞれ関連がありますので、一括して事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、議案第 5 号「宇都宮地域合併協議会小委員会規程の制定について」及び議案第 6 号「小委員会の設置について」ご説明いたします。

はじめに、議案第 5 号「宇都宮地域合併協議会小委員会規程の制定について」でございますが、会議資料の 31 ページをご覧ください。

この規程は、協議会規約第 11 条第 2 項で「小委員会の組織、運営その他必要な事項は、会長が会議に諮り、別に定める」となっており、協議会に小委員会を置き、協議会から付託された特定の案件を調査、審議するための組織として、その運営に必要な事項を定めたものでございます。

主な要点をご説明いたします。

第 3 条では、会長が協議会の委員または幹事会の幹事から委員を指名することになっております。

第 6 条以下では、小委員会の運営に必要な事項を定めておりますが、第 7 条で、必要に応じて小委員会の下部組織として検討会を設置することができる規定をしております。

次に、議案第 6 号「小委員会の設置について」でございますが、会議資料の 33 ページ

をご覧ください。

宇都宮地域合併協議会小委員会規程に基づき、任意合併協議会と同様に3つの小委員会を設置するものです。

1つ目は、新しい地域自治制度の構築について調査、審議を行うため「地域自治制度小委員会」を、2つ目は、合併後の新市のまちづくりを総合的かつ効果的に調査、審議を行うため「市町建設計画小委員会」を、また3つ目としましては、新市の議会における議員の定数及び任期の取扱いについて調査、審議を行うため「議会制度小委員会」を設置するものです。

なお、各小委員会の委員につきましては、会長が指名することとなっており、それぞれの組織構成につきましては参考資料の3から5ページの委員名簿のとおりでございます。

以上で議案第5号及び議案第6号の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

議長（福田会長）

議案第5号及び議案第6号につきまして、事務局の説明が終わりました。ここで質疑を行います。ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、ないようですのでお諮りいたします。

議案第5号「宇都宮地域合併協議会小委員会規程の制定について」及び議案第6号「小委員会の設置について」は、原案のとおり決定としてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

ありがとうございます。それでは、議案第5号及び議案第6号は原案のとおり決定いたします。小委員会の皆様方には、何とぞよろしくお願いいたします。

続きまして、議案第7号「合併の方式について」、議案第8号「新市の名称について」、議案第9号「新市の事務所の位置について」及び議案第10号「行政制度の調整方針について」は、任意合併協議会で承認された事項ではありますが、法定合併協議会でご決定をいただくため、改めて議案を提出いたします。一括して事務局の説明を求めます。

事務局（大林事務局次長）

それでは、議案第7号から第10号まで一括してご説明いたします。

この4議案は、いずれも昨年9月26日に開催されました第3回の任意合併協議会で承認された事項ではありますが、議長の説明のとおり、改めて法定合併協議会において決定をいただくものでございます。

会議資料の34ページをご覧ください。

まず、議案第7号の「合併の方式」につきましては、河内郡上三川町、同郡上河内町及び同郡河内町を廃止して宇都宮市に編入する編入合併とするものです。

続きまして、会議資料の35ページをご覧ください。

議案第8号の「新市の名称」につきましては、宇都宮市とするものでございます。

続きまして、会議資料の36ページをご覧ください。

議案第9号の「新市の事務所の位置」につきましては、宇都宮市旭1丁目1番5号とするものです。

なお、これらは、いわゆる合併の基本4項目と言われるものでございまして、合併に関する基本的な協定項目でございますが、基本4項目のうち合併の期日につきましては、任意協議会におきまして、平成17年3月を目途とし、具体的な期日は法定合併協議会において決定することで合意されておりますが、今後の合併協議の進捗状況を見据えながら、また具体的な合併のスケジュールを検討した上で、改めてご審議をお願いしたいと考えております。

続きまして、議案第10号「行政制度の調整方針」につきましてご説明いたします。

会議資料の38ページをご覧ください。

ページの中ほどの、大きな2の調整の基本的な考え方といたしまして、(1)の一体性確保の原則、(2)の住民福祉向上の原則、(3)の負担公平の原則、(4)の健全な財政運営の原則、(5)の行政改革推進の原則、(6)の地域特性尊重の原則の6つの基本的な考え方をお示しし、了解を得ているところでございます。

この6つの基本的な考え方に基づきまして、3の調整の方針といたしまして、大きく2つの方針に整理してございます。

1つ目は、「新市における住民福祉の向上に向け、基本的な考え方に基づき、原則として宇都宮市の制度を基準に制度の統一・調整を図るものとする」というもので、各市町間で異なっている制度を、宇都宮市の制度を基準として統一・調整するという考え方でございます。

2つ目は、「関係市町の制度のうち、地域特性を有するもの、合併後ただちに統一・実施することで住民生活等に大きな影響を与えるものについては、経過措置の設定や地域自治制度の活用等、円滑な移行に向けた調整を図る」というものでございまして、それぞれの市や町の現在の行政制度を尊重し、一定期間の経過措置を設けて徐々に調整していくなど、円滑な移行に向けた調整をする考え方でございます。

さらに2つの調整の方針に基づいた具体的な調整の方向性についてでございますが、資料の40ページ以降に記載されておりますとおり、(1)の現行のまま新市に引き継ぐ、(2)の原則として宇都宮市の制度を基準に調整する、(3)の原則として宇都宮市の制度を基準に合併までに方向付けを行い、新市に移行後速やかに調整する、(4)の新市に移行後も当分の間現行どおりとし、段階的に調整する、(5)の廃止の方向で調整するという、5つの

調整の方向性を設けてございます。

今後はこれらの調整方針等に基づき、個別の行政制度の調整につきまして、住民生活に影響のある項目を中心に、委員の皆様方のご審議をお願いしてまいりたいと考えております。

以上で議案第7号から第10号までの説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

議長（福田会長）

議案第7号から議案第10号までにつきまして、事務局の説明が終わりました。ここで質疑を行います。ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。行政制度につきましては、6つの原則、5つの調整方針と説明がりましたが、行政制度の調整方針についても、ご意見等がございましたらお願いいたします。

現時点で、調整項目というのはどのくらいあるのですか。

事務局（大林事務局次長）

高根沢町が入っているときが2,091ございまして、その後、高根沢町が抜けましたので今、具体的に数を整理しているところでございますが、2,000は超えていると思っております。

議長（福田会長）

行政制度の調整については、2,000項目を超えるということだそうであります。

ご意見ございませんか。ないようであれば、お諮りしたいと思います。

それでは、皆様方にお諮りいたします。議案第7号「合併の方式について」、議案第8号「新市の名称について」、議案第9号「新市の事務所の位置について」及び議案第10号「行政制度の調整方針について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

議長（福田会長）

ありがとうございます。それでは、議案第7号から議案第10号までは原案のとおり決定いたします。

次に、会議次第7「その他」に移ります。事務局からありましたらお願いします。

事務局（大林事務局次長）

それでは、事務連絡が2件ございます。

まず1つは、1市3町の基礎データをお手元に配布しておりますが、これらにつきまし

ては、合併関係市町の基礎データ、人口や財政の状況などが記載されておりますので、今後の協議の中でご活用いただきたいと存じます。

2つ目は、今後のスケジュールについてでございますが、第2回の法定合併協議会を16年3月1日(月)午後2時より、本日と同じこの場所で行う予定でございます。

なお、委員の皆様方には追ってご通知申し上げますのでよろしくお願いいたします。
以上でございます。

議長(福田会長)

委員の皆様方から、「その他」でありましたらお願いいたします。

山崎委員(宇都宮市)

1点お尋ねしたいと思います。いよいよ1市3町による法定協議会がスタートを切ったわけでございますけれども、お聞きしたいのは、高根沢町の動向といたしますか。何か12月の町議会においては、1市4町への参入が否決をされたようでございます。その後、ごく最近のことでございますけれども、住民発議に向けていろいろ準備がされておるように新聞報道にもございました。

まず第1に、その住民発議というものがどういうものであるのか。それが通った場合にどういう形で宇都宮市とかかわりを持つのか。あるいは1市3町とのかかわりという面ではどういう形になるのか。その辺の推移といたしますか、今後の見通しといたしますか、そんなものを、今現在でおわかりになる範囲で結構ですので、お聞かせいただければありがたいと思います。よろしく申し上げます。

議長(福田会長)

事務局で情報収集している範囲で答えられますか。

事務局(大林事務局次長)

まず第1点の、住民発議はどのようなものかということでございますけれども、法定協議会の設置につきましては、行政主導によるものと住民発議によるもの2つの方法がございます。高根沢町では現在、宇都宮市との1市1町の法定協議会設置の請求に向けまして署名活動が行われております。

宇都宮市との関わりではありますが、最終的には、宇都宮市、高根沢町の判断になりますが、住民発議によります法定協議会の設置につきましては有権者の50分の1の署名が必要でございます。その後、一定の手続を経まして議会の議決を得るという形になりますが、その前に、今現在1市1町、宇都宮市との法定協議会設置に向けてでございますので、相手先でございます宇都宮市の議会の議決も必要となります。

こうした中で、お互いに議会の議決が得られれば法定協議会の設置ができますが、例え

ば宇都宮市で可決され、高根沢町で否決された場合におきましては、今度は住民投票制度がございまして、それにつきましては、町長が法定合併協議会の設置請求、あるいは住民の方が改めて6分の1の署名活動を行いまして、最終的に住民投票で決定する。投票の結果、過半数以上が賛成であれば、議会の議決を経ずに、1市1町の法定協議会が設置されることとなります。

私どもの1市3町の協議会とどういう関係になるかでございますが、1市3町の協議会は、それぞれの市町の議会におきまして議決された法定合併協議会でございます。例えば1市1町、宇都宮市と高根沢町で、最終的に議会の議決を経て協議会が設置された場合におきましては、宇都宮市と高根沢町、1市3町とは、あくまでも別個の2つの協議会を設置することとなります。

2つの法定協議会ですが、これは関西方面にこういった合併協議会をしている例が見受けられるのですが、例えば宇都宮市と高根沢町の1市1町の協議会の協議状況、あるいは1市3町の当宇都宮地域合併協議会の協議の進捗状況等を踏まえながら、同時並行して協議を進めるとか、あるいは必要に応じて合同会議を開催することは、実務的には可能でございます。

いずれにいたしましても、お互いに、2つの法定協議会ですので、別個の協議会になるということでございます。

山崎委員（宇都宮市）

はい、わかりました。

議長（福田会長）

ほかにございませんか。

それでは、ないようでございますので、第1回宇都宮地域合併協議会を終了といたします。

法定合併協議会として初めての協議でありましたが、今後はますます具体的な協議になると思われま。委員の皆様方には、引き続き新しいまちづくりのためにご尽力をお願いしたいと考えております。

本日は長時間にわたりましてご協議をいただきありがとうございました。大変お疲れさまでした。

事務局（大林事務局次長）

ありがとうございました。

以上をもちまして、「第1回宇都宮地域合併協議会」を閉会いたします。

午後3時03分 閉会